

令和7年3月1日発行

倉吉市議会だより

# 白壁

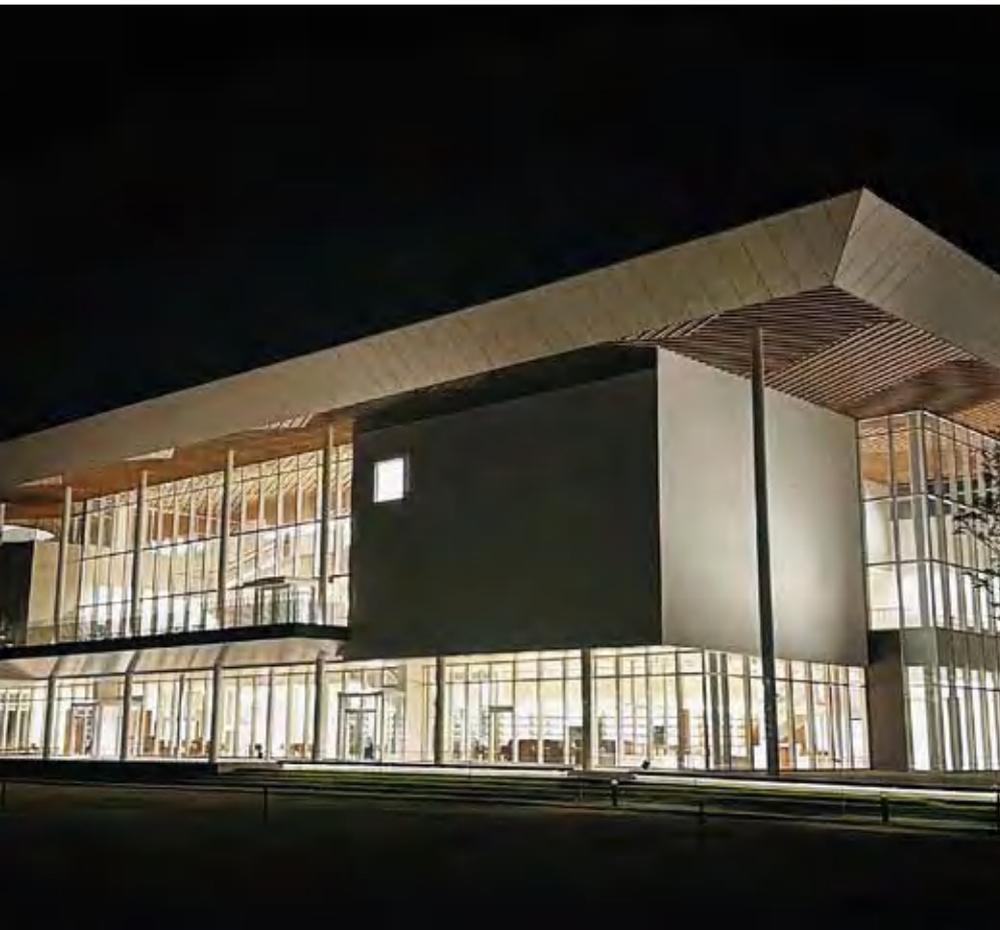
## 12月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



### 今号の内容

市民の声・3月定例会・編集後記	16
特別委員会	15
視察報告	14
議案等の議決結果	14
常任委員会	12 13
議案に対する質疑	10 11
市政に対する一般質問	2 10



撮影者：議会だより編集委員

～ 3月30日オープン 鳥取県立美術館 ～  
ちびっこワークショップ in 県立美術館 (1月26日)

令和6年12月第7回倉吉市議会定例会が、令和6年12月2日(月)から12月18日(水)まで開催されました。  
会議録(質問・答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。  
市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録検索システム



# No. 32



# 【市政に対する一般質問】

## 【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

## 一般質問通告一覧表

会派名	議員名	発言通告要旨
や ら い や	福井 典子	○ 障がい者(児)支援について
		保育所再編に伴う職員体制等、これからの保育所運営について
		○ 「くらしよし倉吉プロジェクト※」の10月以降の進捗状況について
	山根 健資	石破総理が就任してからの今後の倉吉市について
		○ 体験的学習活動休業日について・保護者と学校との関わりについて
		○ 伝建地区の相続放棄案件について
	大月 悦子	○ 今後の水道料金について
		○ パブリックコメントについて
		市から発行されるチラシ(広報物)等について
	大津 昌克	プラスチック製容器包装の回収について
		○ 年収の壁と倉吉市政について
		保育行政について
	朝日 等治	まちづくりについて
		○ 北条湯原道路の整備促進について
		○ 消防団の強化について
丸田 克孝	学校体育館の空調整備について	
	○ 小鴨小学校について	
	○ 第3期倉吉市中心市街地活性化基本計画について	
田村 閑美	○ 西エリア地区保育所再編計画について	
	○ 自治公民館について	
	健康促進について	
藤井 隆弘	○ 学校教育とPTAについて	
	倉吉市健康福祉諸施策について	
	○ 防災体制とインフラ整備について	

○印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

## 【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

会派名	議員名	発言通告要旨
新 政 会	鳥羽 昌明	市民の読書環境の充実について
		○ 骨粗鬆症予防について
		○ 倉吉西エリア保育所再編問題について
	福井 康夫	スケートパークの要望について
		○ 農業振興について
		○ ごみ処理対策について
	笠原 晶子	緊急時の健康対策について
		○ 母子手帳への「子どもの権利条約」の記載について
		不登校の状況について
	伊藤 正三	○ 性教育について
		教員不足の状況について
		学校における意見表明支援制度について
	米田 勝彦	少数与党が政権に与える影響(国・地方)について
		○ 上下水道耐震化と水道料金値上げについて
		給食費無償化について
鳥飼 幹男	不登校といじめについて	
	○ 紙の教科書とデジタルの教科書について	
	○ 射撃場の騒音対策について	
佐藤 博英	○ 市窓口に補聴器具の配置について	
	○ 住宅用火災警報器、防災無線機の現況について	
	○ 伝統的建造物群保存地区の空き家対策について	
日本共産党	○ 災害時のドローン活用について	
	学校図書館図書整備等5か年計画について	
	○ 水道料金引上げ、耐震化、小規模水道について	
日本共産党	○ 小・中学校での不登校、いじめなどの問題について	
	保育所統合問題について	
	宅配ボックスについて	

※【くらしよし倉吉プロジェクトとは。】

国の交付金を活用して、関係人口創出や若者に魅力ある仕事創出に取り組むプロジェクト



定例会の一般質問  
発言通告表



やらいや

福井 典子

### 障がい者(児)支援について

**問** 在宅で生活する障がいのあ  
る方がレクリエーションやイ  
ベントなどに参加しようとして、  
家族等の介助者の都合がつか  
ない場合、付き添いの支援を受  
けることができるか。また支援  
度の周知はできているか。

**答** 地域生活支援事業の移動支  
援を利用することができる。そ  
の移動支援は、社会生活を送  
る上で必要不可欠な外出であ  
ったり、余暇活動などのための外  
出を対象として、ガイドヘルパー  
による一対一の個別支援を実施  
している。希望があれば市の福  
祉課に相談、手続きをして利用

いただきたい。制度の周知は  
しっかりと検討して、利用して  
いただけるように努める。

### 「くらしよし倉吉プロ ジェクト」の10月以降の 進捗状況について

**問** プロジェクトの進捗状況は。  
**答** 令和5年度の事業も継続し  
つつ、高校生を対象にした新規事  
業やインバウンドなどの準備を中  
心に事業を展開し始めたところ。

**問** 高校生育成の対象について  
は1校だけでなく広く満遍なく  
対象とすべきだと思いが。

**答** 地域人材教育プログラム、  
リーダーシップ育成プログラ  
ム、地域の多様な職種や仕事に  
対する理解を深めるプログラム  
をまずはモデル的に倉吉東高等  
学校の生徒を対象として実施し  
た。来年度からは対象校を広く  
し、学校ごとの特色を生かしな  
がら取り組んでいきたい。



やらいや

山根 健資

### 体験的学習活動休業日 について・保護者と学校と の関わりについて

**問** ふれあいホリデー体験的学  
習活動休業日を来年度も実施さ  
れるか。

**答** 今回初めての実施でいろい  
ろな課題はあるが、しっかりと検証を  
していきたい。今後については、ア  
ンケートの結果に関わらず、来年  
度も継続して取り組んでみたい。

**問** 保護者の奉仕活動はどのよ  
うに考えるか。

**答** 各学校に教員業務支援員を  
配置している。また、地域のボラ  
ンティアに来ていただき、事前に  
草刈りをしていただいている。来  
年度は、県教育委員会が派遣型  
ワークセンターをモデル的に倉  
吉市に設置する方向で検討して  
いると聞いている。

### 伝建地区の相続放棄案件 について

**問** 地区内の相続放棄案件空き  
家からの崩落物により、隣接建屋  
が被害を受けているが、対応は。

**答** 弁護士や専門家に相談をし  
ながら研究している。早めに結  
論をいただきながら、今後の対  
応を検討したい。必要に応じて  
今後、プロジェクトに対応す  
る組織についても検討したい。

### 今後の水道料金について

**問** 値上げにより、影響を受け  
る方への配慮的な処置は。

**答** 今後、1カ月程度、パブ  
リックコメント等をいただきなが  
ら、市民の声に耳を傾けたい。  
20%程度の値上げは、やむを得  
ないという答申をいただく予定  
だが、いろいろな状況におられる  
方への配慮も十分検討した上で、  
値上げ幅については検討したい。





やらいや  
おほいき えつこ

大月悦子

### パブリックコメント(以下「パブコメ」)について

**問** 近年の募集案件は何件か。

**答** 令和4年度は2件、令和5年度は3件。令和6年度については今後の予定も含めて4件。コメントは一つのパブコメに対して平均4、5件。

**問** パブコメの内容はどんなところでお知らせしているか。

**答** 本庁舎、第2庁舎のほか、コミュニティセンターやホームページ等で内容をお知らせしている。

**問** パブコメで市民の声を聴く制度はとて大切。

岩手県紫波町では図書館にあるパブコメ用の記載テーブルで見が出来るようになっており、

紫波町市民参加条例にも「市民の主体性によりまちづくりを行っていくために、参加するのではなく行動するもの」というたつてある。このような市民参加としての位置づけや条例は倉吉市にあるか。

**答** 市民参加を推進するため、平成18年12月に「倉吉市市民参画と協働のまちづくり推進条例」を制定している。平成19年1月には、「市民参画と協働のまちづくり指針」を策定し、市民参画の方法の一つとしてパブコメを掲げ、その運用について定めている。

**問** パブコメの手続きの流れは。

**答** 年度内の実施予定を市報やホームページで年2回公表している。その日程に従い、告示して対象となる施策案を公表し、意見を募集している。



やらいや  
おほつ まさかつ

大津昌克

### 年収の壁と倉吉市政について

**問** 今、壁といわれている103万円が178万円になった場合、倉吉市の税収等、歳入の試算額は。また市政に与える影響は。

それらに関して国への要望等、具体的な働きかけは。それらを踏まえ市長の所見を伺う。

**答** 本市の個人市民税への影響額は約5億8千万円の減収が見込まれる。個人市民税収入額全体に対する割合に換算すると約30・2%相当の額となる。これらの額は令和5年度決算に例えると保育所運営事業費約21億6千万円のうち一般財源

6億3千万円に相当。また塵芥事業費5億9千万円のうちの一般財源約5億4千万円に相当し、市民生活に必要な行政サービスに影響が生じる危機感がある。これらを踏まえ、地方税財源に影響を及ぼさないよう全国市長会及び鳥取県六団体等で国等に要望を提出しており、倉吉市単独での要望は現時点では予定してない。また私の見解は、人手不足や働き控えの課題に対し新たな労働力の確保や最低賃金上昇への対応という点では一定の評価はできるが、地方財源への影響を懸念する。ただこの地方財源の問題が払拭されれば行政サービスも滞らず住民所得の増加や消費増加等、経済の好循環の可能性もあるので国でもよく検討いただきたいと考えている。



やらいや

あさひ とうじ  
朝日 等治

### 北条湯原道路の整備促進 について

**問** 倉吉関金道路のⅠ期区間（福光～福山）の開通はいつか。

**答** 令和7年3月の開通に向けて鋭意工事が進められているが、明確になり次第お知らせし、開通のお祝いにつなげられたいと考える。

**問** Ⅰ期区間の開通に間を空けずⅡ期区間（福山～大鳥居）の工事に着手していただきたいが、計画の進捗は。

**答** 令和6年8月から関係者への説明会を行い、理解を得ていると聞いており、ルートがほぼ確定してきたところ。

**問** Ⅱ期区間の開通時期は。

**答** Ⅰ期区間の工事完了に約13年を要したので同程度の期間を要すると想定している。

**問** いまだに調査区間の大鳥居から犬狹峠道路までの約2kmについては整備区間の指定を求めるとともに、Ⅱ期区間と一体となった計画を策定し、県内全線が自動車専用道路として早期事業化されることを求めるが。

**答** 知事要望では本市の主要要望としており、今後の道路整備の早期着手につながると考え、引き続き国や県等にしっかりと要望していく。

### 倉吉市消防団の強化について

**問** 消防団員の確保に向けて、どう取り組んでいるか。

**答** 団員の負担軽減のため出初式等の見直しや出動報酬の引き上げ、学生消防団活動認証制度の活用、プロモーションムービーの発信などに取り組んでいる。また、地域の行事で活動を披露するなど、消防団の活動が地域住民に見える努力を消防団と協力しながら取り組んでいく。



やらいや

まるた かつたか  
丸田 克孝

### 小鴨小学校について

**問** 小鴨小学校の増築は教室3クラス分であるが、今後の教室と職員室の増築はあるのか。

**答** 教室のレイアウト変更等を行い、今の段階で教室の不足は生じていない。職員室内のレイアウト等も修正し、先生方がきちんと過ごせるスペースも確保できているので増築の必要はないと考えている。

**問** 学校前の民家を買収して、学校の敷地とすれば危ない市道が解消されるがどうか。

**答** 現状では地権者からの要望もないので考えていない。

**問** 地権者は条件次第との気持ちはあるが。

**答** 現状としては、今すぐ対応

することは考えていない。

### 第3期倉吉市中心市街地活性化基本計画について

**問** 第3期倉吉市中心市街地活性化基本計画が始まるが、1期、2期の経過状況と総括は。

**答** 1期のハード事業から2期まで取り組んできたが、新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか目標に達することができなかった。今後は倉吉駅北の県道も開通するので、にぎわいづくりにつながるような事業誘致に向けて取り組んでいきたい。

**問** 入り込み客数を把握する12施設の中に個人事業者もあるが、ほかの民間事業者の方への集客支援も必要ではないか。

**答** 県立美術館の入場券を提示することで、割引や土産物が受け取れる特典を予定している。また、民間事業者等が県立美術館と他のエリアをつなぐ誘客イベントを実施する場合の支援金も補正予算に計上している。





やらいや  
たむら しずみ  
**田村 閑美**

## 西エリア地区保育所再編計画について

**問** 南部町の保育所計画では2年で開園する予定だが、横田地内では5年かかるとのこと。その差は造成整地に時間を要するからであり、市が示す横田地内であればもっと早く、改善された保育所で過ごすことができるとは。一番優先すべきは何だと考えるのか。

**答** 工期については精査をしないといけないと思う。グラウンドのような場所ならすぐさま工事に入れるが、横田地内は造成をして、しっかりした土台を造らないといけないので、工期が必要。早期に設置をしたいという思いは従来からあるが、建設業界等も働き方改革等により、工期も長くなっている。できるだけ早期の設置に向けては、努力したい。

## 自治公民館について

**問** 地域では人が少なくなり、役員をしても順番がすぐに回ってきってしまう。「空家も増え、隣近所が遠くなっている。高齢者も多く、活動が難しいので、地域の統合をしないと維持ができないのでは」という相談があった。どのような解決に導くか。また、数人しかいない地域同士で行事を共にすることは可能か。

**答** 自治公民館加入促進への取り組みを引き続き継続していく。人口減少や高齢化等の非常に早いスピードでの進行に伴い、自治公民館を維持していくことが難しい中、なんとか持ちこたえているので、複数の小さい公民館が一つになって対応していく事例は出てくるのかなと思う。そういった場合は十分な話し合いや説明が必要であり、認可地縁団体等は市への手続きが必要となるので市役所に相談いただきたい。



やらいや  
ふじい たかひろ  
**藤井 隆弘**

## 学校教育とPTAについて

**問** PTA会費の執行について、草刈り機や除雪機等備品の購入、教育活動費、環境整備費など、これでよいのかと思われる事例がある。公費として購入すべき物は公費で購入し、備品等の管理や寄付採納の手続き等についても教育委員会としてしっかりと点検して適正な執行に努めていただきたいと考えるがどうか。

**答** 一つ一つの学校のPTA会計についてのチェックをしているわけではないが、私費会計と公費会計の区別等について、各学校のPTAで再度点検・確認をしていただくことが先決。PTAは任意の団体になるが、教育委員会としても必要があれば実態調査等の検討をしてみたい。

## 防災体制とインフラ整備について

**問** 上下水道のインフラ整備と使用料の関係について、耐震化を進めなければならぬことは理解するが、費用を企業債や使用料で全て賄うことに無理はないか。水道料金の改定を急ぐのはいかがなものか。

**答** 一律20%値上げした場合の例では、一般家庭の3〜4人家族で月の使用水量が20立方メートルの場合、2,142円が2,568円と426円の値上げとなると試算している。

上下水道事業は独立採算が求められるというものの地方公営企業法の規定によって合理的理由がある場合は一般会計からの繰入もできることになっている。しかし、28年間料金を据え置いてきた状況もあり、水道事業者として経営努力をした上で、次の段階において考えていければと思う。



新 政 会

とば まさあき  
鳥羽 昌明

### 倉吉西エリア保育所再編問題について

**問** 横田予定地は危険地域なのか。

**答** 国土交通省が公開している浸水ナビによれば、想定し得る最大規模の降雨で仮に堤防が決壊・破堤した場合に、この地点の最大浸水深は決壊から4時間後に0・65mと想定されており、同程度の浸水深エリアは市内に多く広がっている。他の場所と比べても決して危険な場所として位置付けられていない。

**問** 保育所整備が遅れるとどのような影響が出るか。

**答** 現施設の老朽化により、年齢に応じた集団活動が困難になったり、乳幼児の健やかな成長には何らかの影響が出るので

はないかと考えている。また、慢性的な保育士不足から生じる精神的・肉体的負担が改善されない状況が続くことにもなることや職場環境が改善されないことで職員の疲弊感も増大するのではと考えている。さらに、地域の子育て世帯の支援という面で、家庭で保育する子育て世帯の相談支援や居場所づくりが改善されず、財源的にも予定している地方債が時限措置となっていることから、遅ればれば市の財政負担にもつながる。

### こつそしょうしょう 骨粗鬆症予防について

**問** 本市も公費負担による骨粗鬆症検診を実施すべきではないか。

**答** 健康増進法上は努力義務になっているが、県内では鳥取市、境港市ほか9自治体の実施している。他市の状況を見ながら検診の実施に向けて検討を始めた。



新 政 会

ふくい やすお  
福井 康夫

### 農業振興について

**問** 「食料・農業・農村基本法」が、25年ぶりに改正された。農村や農地を守るためには、小規模農家に対する支援が欠かせないが、対策は。

**答** 鳥取県でも令和7年度から小規模農家向けの支援事業について要件見直し等、具体的に検討していくと聞いている。

今後、好事例のある香川県の取り組みも参考としながら、県と協調して検討し、支援の環境を整えていきたい。

**問** 後継者育成と県立農業高校・県立農業大学校との連携についてはどうか。

**答** 今後もさまざまな機会を通じて若い方々からの意見を拾い

上げるように努めたい。

**問** 水田活用直接支払交付金制度の市の現状は。

**答** 令和4年度から令和6年度までに水稲の作付けがあったのは約2,990haで対象水田全体の約82%。さらに、令和6年11月末現在で水張りの実施を確認できているのは10ha。確認できていない水田については、令和8年度末までに取り組みが無い場合、現在の制度のままであれば、令和9年度から交付金の対象外水田となる。

### ごみ処理対策について

**問** ごみの不法投棄の現状と対策は。

**答** 昨年の不法投棄の件数は10件で、畳やタンスなどの家財道具、生活ごみ、廃タイヤが多い。県や市では不法投棄の再発防止策として監視カメラを貸し出す制度がある。







新  
政  
会

よ  
ね  
だ  
か  
つ  
ひ  
こ  
**米田 勝彦**

### 紙の教科書とデジタルの教科書について

**問** 紙の教科書の方が教育効果が高いという考えがあるが。

**答** それぞれの強みを生かし、併用して使っていきたい。

### 射撃場の騒音対策について

**問** 市民の方から「音がなんとかならないか」と要望がある。防音措置をしようか。

**答** 騒音等の苦情は届いていない。広い場所なので有効な手立としては難しいが、関係団体とは相談して研究していく。

### 市窓口に補聴器具の配置について

**問** 「人の声が聞き取りにくい」という方のために補聴器具を置いてはどうか。

**答** 軟骨伝導イヤホンというものがあり、凹凸がなく手入れもしやすい。また、衛生的であり非常に聞きやすく、職員も大きな声を出さなくてもよいので、第2庁舎の窓口への設置を検討したい。

### 住宅用火災警報器、防災無線機の現況について

**問** 火災警報器は天井等高所に付いている。高齢者や障がいのある方等には電池交換は難しい。市民の方の維持経費は市が負担をしようか。

**答** 維持管理経費を出すことは考えていない。



新  
政  
会

と  
り  
か  
い  
み  
き  
お  
**鳥飼 幹男**

### 伝建地区の空き店舗対策について

**問** 令和7年の県立美術館の開館を控え、伝統的建造物群保存地区(伝建地区)でも観光客を多く見掛けるが、チャレンジショップ「あきない塾」は、出店者がなく空き店舗の状態が長期に渡っている。チャレンジショップ事業の今後の展開についての考えは。

**答** 現在まで49件の利用があり、卒業生のうち31件が市内で開業し、事業成果につながっている。事業未経験者の新規出店を支援する取り組みとして、しばらく残す必要があると考えている。

**問** 現在の「あきない塾」の建物は、伝統的建造物として位置付けられているが、併設している建物は老朽化が著しいため、

建物全体を修理して市の観光資源を生かした観光スポットとして整備し活用しようか。

**答** 現在、修理に向けて所有者と協議を行っている。所有者の意向や文化庁との協議の中で決めていきたい。建物の活用については、民間団体等とも協議をしながら有効活用に向けて支援していく。

### 災害時のドローン活用について

**問** 災害時に被災現場の状況を把握し、情報に関係者で共有することは早期の救急活動や復旧作業にとって重要であり、山間地域を抱える消防団を中心にドローンの導入を検討すべきと考えますが市長の考えを伺う。

**答** 消防庁もドローンの導入を補助金の対象に加え、全国で導入が進められている。市の消防団への導入は非常に有効だと思われる。先進事例等を踏まえ対応ができる方向で研究する。





日本共産党

さとう ひろゆき  
佐藤 博英

### 水道料金値上げについて

**問** 28年間料金改定がされず、施設の耐震化の遅れも行政の責任ではないか。

**答** 令和2年度に上下水道組織の統合、令和3年度に窓口業務を包括的民間委託にするなど経営改善に取り組んできたが、値上げをしてこなかった責任は感じている。

**問** 市民に3割の値上げを強いるべきではない。一般会計から繰入れすべきではないか。また、減免措置はできないか。

**答** 水道事業自体が独立採算であるため、利用者からの利用料金で賄うことが原則。まずは水道料金を上げながら経営努力をしていくが、今の時点で減免は基本的には考えていない。

### 小・中学校での不登校、いじめなどの問題について

**問** 倉吉市は不登校比率が高いが対応策は。

**答** ①未然防止の取り組みの充実、②校内における居場所づくり、絆づくり、③学校外における学びの場の確保、④ひきこもり傾向の児童生徒への対応の4つの柱で取り組んでおり、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどを駆使して対応している。

**問** サポート教室を増やし、担任以外のサポート教員を増やせないか。

**答** 成果を出している校内サポートルームは、来年度は小・中学校にもう少し広げていきたいと考えている。

また、教員のフォロー体制といった定数改善や授業時数等については、全国都市教育長協議会として要求をしている。

**問** 就学援助の取り組みはどう考えているか。

**答** 就学援助は研究していきたい。

令和6年  
12月  
第7回  
定例会



## 【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。  
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



市議会提出議案

議員名	通 告	担当部局
鳥飼 幹男	<b>緑の彫刻</b> 倉吉市緑の彫刻プロムナード公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	経済観光部
	<b>工事請負契約</b> 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	経済観光部
竺原 晶子	<b>ハラスメント</b> 倉吉市職員等のハラスメントの防止に関する条例の制定について	総務部
	<b>工事請負契約</b> 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	経済観光部
大津 昌克	<b>緑の彫刻</b> 倉吉市緑の彫刻プロムナード公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	経済観光部
	<b>エキパル</b> エキパル倉吉及び倉吉市駐車場の指定管理者の指定について	経済観光部
	<b>湯 命 館</b> 倉吉市せきがね湯命館及び倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について	経済観光部
	<b>工事請負契約</b> 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	経済観光部
福井 康夫	<b>工事請負契約</b> 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	経済観光部
大月 悦子	<b>緑の彫刻</b> 倉吉市緑の彫刻プロムナード公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	経済観光部

<b>ハラスメント</b> …議案第75号	倉吉市職員等のハラスメントの防止に関する条例の制定について
<b>緑の彫刻</b> …議案第79号	倉吉市緑の彫刻プロムナード公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
<b>エキパル</b> …議案第81号	エキパル倉吉及び倉吉市駐車場の指定管理者の指定について
<b>湯 命 館</b> …議案第83号	倉吉市せきがね湯命館及び倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について
<b>工事請負契約</b> …議案第84号	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について

## 主な質疑・答弁

### 倉吉市職員等のハラスメントの防止に関する条例の制定について

**Q** 条例作成時に職員からの意見を事前に聴取したか。

**A** 本市の他条例との表現の均衡、定義等内容の明確化や補足修正などを行い、議会の提案までの手続きである例規審査会、企画審議会の審議を経て、今回提案をした。この間に職員労働組合や職員団体に案を提示し、意見を聴取した結果、異議がないことを確認して市議会に提案した。

**Q** 条例可決後の運用や組織体制の整備は。

**A** 全職員への周知やハラスメント防止に向けた研修等を実施していく。また、業務受託事業者や指定管理者の皆さんに対しても条例の施行を知ら

せ、職員によるハラスメント事案発生時の報告・相談手順を明確化していく。

**Q** 被害者が自分の被害に気づかない、または訴えにくい場合のフォローは規定されているのか。

**A** 本市では平成15年からハラスメントに関する要綱を制定し、保健師を含む相談体制を整備している。また、地方公務員法に基づき公平委員会への相談も可能。複数の相談ルートを準備し、職員に最も話しやすい窓口を選んで相談できる環境を整えている。

**Q** 被害者の周囲の人がハラスメントに気づいて相談することは可能か。また、そのような環境整備はどう進めるのか。

**A** 周囲の人からの相談も受け付け、役所全体でハラスメント防止や相談しやすい環境整備に努める。

### 倉吉市緑の彫刻プロムナード公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

**Q** 倉吉市緑の彫刻プロムナード公園のまちかどステーションの指定管理の廃止と倉吉線鉄道記念館の維持管理はどのようになるか。

**A** まちかどステーションの指定管理は令和6年で終了する。倉吉線鉄道記念館は指定管理から担当課が直接管理を行う。

**Q** まちかどステーションの利用者に事前の周知はどのようになっているか。

**A** 地元の方には3年前から話をしており、改めて直近では成徳地区の自治公民館協議会に相談した。市報、ホームページで周知する。

**Q** まちかどステーションは避難所にも指定されているがどうなるか。

**A** まちかどステーション以外に新しい代替施設として指定することが難しい状況であるので、次の用途が決まるまで、引き続き避難所機能を有するものとして指定は続ける。

**Q** 緑の彫刻プロムナード公園は倉吉市の誇れるエリアです。今後の管理方針はどのようになっているか。

**A** 誰もが走行しやすく自転車でも車いすでも通行しやすいよう漸次改良を加えたい。県立美術館開館に併せて、グリーンスローモビリティが近くを通ることになっている。

**Q** 近年のまちかどステーションの利用状況は。

**A** バザー会場や運動サークル活動の場所、企業の展示会場、ミニ四駆のレース会場、イベント会場等で利用があった。昨年度は、年間利用時間が758時間で、1日平均約2時間程度と、利用実績は非常に少ない。



# 【常任委員会】

## 【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

## 予算決算常任委員会

委員	委員長 大津 昌克	副委員長 藤井 隆弘	委員 朝日 等治 大月 悦子 大竺原 晶子 鳥羽 昌明 福井 典子 福谷 直美 山根 健資	委員 伊藤 正三 藤村 閑美 佐藤 昌明 鳥飼 幹夫 福井 康夫 丸田 克孝 米田 勝彦
	委員 藤村 閑美 佐藤 昌明 鳥飼 幹夫 福井 康夫 丸田 克孝 米田 勝彦	委員 伊藤 正三 藤村 閑美 佐藤 昌明 鳥飼 幹夫 福井 康夫 丸田 克孝 米田 勝彦	委員 伊藤 正三 藤村 閑美 佐藤 昌明 鳥飼 幹夫 福井 康夫 丸田 克孝 米田 勝彦	委員 伊藤 正三 藤村 閑美 佐藤 昌明 鳥飼 幹夫 福井 康夫 丸田 克孝 米田 勝彦
所管	予算決算に関する事項について 審査・調査			

予算決算常任委員会には、議案第65号一般会計補正予算(第6号)専決処分、議案第66号一般会計補正予算(第7号)の他、議案第67、72号計6件の特別会計補正予算及び議案第73号水道事業会計及び議案第74号下水道事業会計の2件の公営企業会計補正予算が付託されました。そのうち議案第66号では、公立保育所再編整備事業に関して、議案上程時に説明されていた全体事

業規模を18億3千万円から13億6千万円に見直すという方向性が委員会開催当日に示され、この保育所再編整備事業を争点に、2時間半を超える審議が行われました。議論の対象となった補正予算内容は、令和6、9年度にかけて計画されている幼保連携型こども園整備予定地の測量、設計、調査等予算20,805,000円(繰越明許)と、土地購入費用76,188,000円(債務負担行為)です。

### 審査の結果

議案第66号一般会計補正予算(第7号)は、挙手採決により賛成者少数で否決、それ以外のすべての議案は、異議なしとして承認及び可決すべきものと決定しました。

## 総務産業常任委員会

委員	委員長 米田 勝彦	副委員長 佐藤 博英	委員 朝日 等治 田村 閑美 福谷 直美	委員 伊藤 正三 鳥羽 昌明 丸田 克孝
	委員 伊藤 正三 鳥羽 昌明 丸田 克孝	委員 伊藤 正三 鳥羽 昌明 丸田 克孝	委員 伊藤 正三 鳥羽 昌明 丸田 克孝	委員 伊藤 正三 鳥羽 昌明 丸田 克孝
所管	総務部、建設部、経済観光部、農業委員会、会計管理者、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会			

総務産業常任委員会には議案8件、陳情1件が付託され、委員会審査が行われました。議案第79号の審査では、まちかどステーションは、4月から閉鎖しますが速やかに解体することは考えていない。鉄道記念館は市が管理しますが展示業務は民間委託しますと説明を受けました。議案第83号の審査では、湯命館は令和8年度からリニューアル工事にか

かり、令和9年に営業開始予定。工事の間、休館するとすれば人材確保のため休業補償は考えていると説明がありました。議案第84号の審査では、河北町に建設中のグッドスマイルカンパニーの貸工場は予定通り4月から操業。雇用規模は5年で220人、来春は60人でスタート予定と説明がありました。

### 審査の結果

付託された議案は全て原案のとおり、可決されました。陳情第15号の不正な臓器取引等を防止するための法整備を求める意見書提出については、国内の臓器移植に関する法律で対処できる部分もあり、趣旨採択としました。

## 厚生文教常任委員会

委員	山根 健資 委員長
	福井 典子 副委員長
	大月 悦子 委員 大津 昌克 委員
	笠原 晶子 委員 鳥飼 幹男 委員
	福井 康夫 委員 藤井 隆弘 委員
所管	市民生活部、健康福祉部 教育委員会

12月13日(金)、厚生文教常任委員会には議案5件、陳情1件が付託されました。

議案第77号の審査では、窓口業務において、システム障害で支障を来たした際の対応等の議論が行われました。議案第78号では、倉吉市においては、家庭的保育事業等を行っている事業者はないとのことでしたが、他市等の状況を確認しました。議案第82号の審査では、執行部から施設の利用状況、利用者等の状況が説明され、各委員が施設の

必要性について理解を深めました。議案第80号では、プール事業の運営経費の高騰事情の説明を受けました。合わせて学校授業で使用されている状況の説明も受けました。

陳情第14号については、倉吉市についての事情説明を受け、部活動についての地域移行の現状を確認し、今後は良い方向になるように指導をお願いしました。

議決がなされませんでした。委員会の最後に倉吉市コミュニティセンター職員の待遇改善についての所管事務調査の提案があり、調査の決定及び閉会中の継続審査に付すことを申し出ることの決定がされました。

### 審査の結果

付託された議案5件は、全て原案可決されました。陳情1件は、採択となりました。

## ○議案第66号 令和6年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)について

- ・質疑 笠原議員
- ・討論 議案賛成の立場で討論 鳥羽議員、鳥飼議員  
議案反対の立場で討論 田村議員

## 動議

令和6年12月18日(水)

### ①議案第66号 令和6年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)に対する修正動議を佐藤博英議員が提出

- ・佐藤議員が提案理由の説明
- ・質疑 鳥飼議員、福井康夫議員
- ・討論 修正動議に賛成の立場で討論 大津議員
- ・採決 修正動議は、起立多数で可決  
賛成 9人  
反対 6人

※採決の内訳は議決結果(P14)のとおり

### ②陳情第15号 臓器移植に関わる不正な臓器取引、移植ツーリズム等を防止するための法整備等を求める意見書提出について

- ・討論 趣旨採択の立場で討論 米田議員
- ・趣旨採択を諮っていただきたい旨の動議を米田議員が提出  
→趣旨採択を諮るよう求める動議が成立
- ・採決 起立多数で可決  
賛成 13人  
反対 2人



# 【議案等の議決結果】

12月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は1件で、それに基づく議案第66号の議決結果。議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決・同意されました。



議決結果

## 賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否													賛成	反対	議決結果			
		朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村閑美	山根健資	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明				伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英
議案第66号	令和6年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	15	0	修正可決
	議案第66号 令和6年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)に対する修正動議 (提出者 佐藤博英)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	×	×	×	○	○	9	6	可決

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、-議長のため表決に加わらず

## 請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告 (付託委員会)	請願・陳情に対する賛否													賛成	反対	議決結果									
			朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村閑美	山根健資	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明				伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英						
陳情第14号	持続可能な学校の実現をめざす意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択							
陳情第15号	臓器移植に関わる不正な臓器取引、移植ツーリズム等を防止するための法整備等を求める意見書提出について	趣旨採択	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/							
			米田議員から出された「趣旨採択」を諮る動議に対する賛否													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、-議長のため表決に加わらず

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

## 令和7年1月第1回臨時会 議案等の議決結果

1月臨時会に提出された議案のうち賛否が分かれた案件はなく、「起立全員」、「異議なし」で可決しました。

【臨時会とは?】 突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために臨時招集される議会のことをいいます。



## 視察報告

期間	令和6年11月7日(木)～11月8日(金)		旅費総額	26,460円
視察先・目的	広島市中区	TKP広島本通駅前 カンファレンスセンター	公会計研修会	
	広島県尾道市	尾道商工会議所	商店街の振興状況調査	
視察者(会派)	米田 勝彦			1人
期間	令和6年11月19日(火)～11月20日(水)		旅費総額	201,750円
視察先・目的	佐賀県武雄市	武雄市役所 市民サービスセンター山内 お結び課	「婚活」支援事業(お結び課)について	
	朝日 等治、大月 悦子、福谷 直美			3人

# 【特別委員会】

## 【特別委員会とは？】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

## 第2次議会改革推進特別委員会

当委員会では先の報告（議会だより第31号）以降、次の通り委員会を開催し付託事件のうち、(4)議会基本条例の運用に関すること及び(5)政治倫理条例の見直しに関すること並びに(6)議員定数、報酬に関することについて調査を進めました。

- 第8回委員会（10月3日(木)）  
〔調査事項〕①市民参画の推進について  
②議会の映像配信について  
③議員定数、報酬について
- 第9回委員会（10月18日(金)）  
〔調査事項〕①議員定数、報酬について
- 第10回委員会（11月18日(月)）  
〔調査事項〕①議会の映像配信について  
②政治倫理条例の見直しについて
- 第11回委員会（12月10日(火)）  
〔調査事項〕①市民参画の推進について  
②議員定数、報酬について  
③政治倫理条例の見直しについて

議会基本条例の運用に関しては、第9条の市民参画の推進及び第10条の広報及び広聴の充実について、議会報告会及び市民との意

朝日 等治 委員長、大津 昌克 副委員長、  
委 伊藤 正三 委員、大月 悦子 委員、鳥羽 昌明 委員  
員 鳥飼 幹男 委員、福井 康夫 委員、藤井 隆弘 委員  
山根 健資 委員

見交換会を具体的に実施していくため、体制及び方法等についての早期整備を議長に求めるほか、「議会の見える化」を充実させるため、SNSの利活用等、議会の映像配信について調査しました。

また定数、報酬に関することについては、11月29日、本市自治公民館連合会常任委員会において常任委員から意見を伺い、市民及び市民団体等と意見交換の機会の必要性和重要性を認識し、今後の報酬、定数のあり方についてさらに調査を深めることとしました。これら、付託事件に係る調査の進捗については、12月18日、第7回議会定例会本会議において、中間報告として「議会の見える化を重点的に進めることに特化した体制を早急に整備し、市民との対話を専門的に企画・運営されたい」ことを提言しました。

なお当委員会が素案をまとめ、市長へと送付、制定を求めた「倉吉市職員等のハラスメントの防止に関する条例」が第7回定例会に提案され、12月19日から施行されたことを報告いたします。

## 地域の賑わい創出対策特別委員会

令和6年12月13日(金)に特別委員会を開催し、(1)倉吉市周遊滞在型観光モビリティ向上計画、(2)倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備事業、(3)史跡大御堂廃寺跡整備事業についてそれぞれ進捗状況を聞き、意見を交わしました。

倉吉市周遊滞在型観光モビリティ向上計画については、11月9日から20日間実施されたグリーンスローモビリティ実証実験のアンケート結果等の報告を受けました。また、11月22日には委員も実際に乗車しましたので、その際の感想も踏まえて意見を出し合いました。今後は当初予算に向けて運行計画を決め、方向性を詰めていくということです。

倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備計画については、進捗状況の報告を受け、委員からも細かく提案をしました。報告では、ランドスケープは予定ギリギリまでの工期になるようですが、飲食物販施設の工期は3月19日までとなっており、県立美術館開館日まで

田村 閑美 委員長、福井 典子 副委員長  
委 佐藤 博英 委員、笠原 晶子 委員、福谷 直美 委員、  
員 丸田 克孝 委員、米田 勝彦 委員

にはオープン予定のようです。また、集いの森は入ってみたいくなる森になるとのことで、イルミネーションやライトアップができるよう電源が取れるようなしつらえも整備されることでした。

史跡大御堂廃寺跡整備事業については、大御堂廃寺跡トイレの内外装の塗装、男性トイレのウォシュレットの設置、女性トイレの残っていた和式トイレの洋式化の工事が完了したとの報告がありました。また、大御堂廃寺跡の一般利用のルール概要について説明があり、委員からはキッチンカーの乗り入れ等について意見が出されました。芝張りができている部分もあるようですが、今後はルールを定めて利用方法等を皆さんにアナウンスしていくことでした。

それぞれの事業について、今後も現場の状況を把握しながら議論を深めていく予定としています。

令和7年 3月 倉吉市議会定例会

【会 期】 3月3日(月)～3月25日(火)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容
3月3日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明
4日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
5日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
6日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
7日	金			予備日
8日	土			休会
9日	日			休会
10日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～委員会付託
11日	火			予備日
12日	水	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)
13日	木	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)
14日	金			予備日
15日	土			休会
16日	日			休会
17日	月	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)
18日	火			予備日
19日	水	委員会	午前10時	常任委員会(総産・厚文)(予定)
20日	木			休会
21日	金			予備日
22日	土			休会
23日	日			休会
24日	月			議事整理日
25日	火	本会議	午前10時	委員長報告～付議議案の討論・採決

…ケーブルテレビ放送あり  
※録画放送は開催日の午後7時から。

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。  
会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、  
会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集  
後記

鳥取県立美術館の開館が近づいてまいりました！  
TMOA+ (ティーモア・プラス) は、「みんな  
でつくる美術館」を実現するためのボランティア  
制度です。

先日TMOA+ 絵本読み聞かせ練習会に参加しました。  
男性や学生さん、赤ちゃん連れも参加。様々な方が、  
思い思いの絵本を持っての参加でした。今後の活動が  
とても楽しみです。

別の日に、広報発行物の発送準備作業にも参加しました。  
美術館の最新情報をいち早く知れるお得な活動ですよ  
ね。

TMOA+には中部だけでなく、東部や西部からも参加  
されています。「何かお手伝いがしたい」「仕事をしてい  
るが、少しでもできることがあれば」と話されていました。

出来る時に出来ることを、楽しみながら続けていけた  
らいいなと思います。(編集委員：竺原晶子)

議会だより「白壁」  
のご意見・ご感想はこちら ▶



株式会社みささ弦楽プロジェクト  
(倉吉市在住)

おかの たけひと  
岡野 壮人さん

鳥取県立美術館開館に向けて

この度は鳥取県立美術館の開館、誠におめで  
とうございます。地域に根差した市民の皆様、  
県民の皆様を中心に愛される美術館となるよう  
祈っております。

素晴らしい芸術に触れられる環境として新し  
く生まれる美術館、これほど楽しみなことはあ  
りません！

私は倉吉を出て東京、ドイツ、フランスへと  
10年間ヴァイオリン職人の修行をして帰って参  
りました。倉吉を出る前から地元に戻る！と決  
めていたこともあり、倉吉での芸術創作活動に  
夢を含ませておりました。

自分が家族や周囲に協力してもらい習得し  
た技術をまた伝えていくこと、そして音楽を  
通して未来ある子ども達に芸術に触れてもら  
い心を豊かにしてもらうこと、それが地元の  
文化向上への貢献になり恩返しになると考え  
ていたからです。

これから始まる鳥取県立美術館では、芸術を  
体現できる場として視覚だけではなく子ども達  
の感性を伸ばせるよう参画型でたくさんの企画  
をしていただきたいと思います。芸術分野も種  
類を選定プログラムし**非認知能力**(知能検査や  
学力検査では測定できない能力)の高められる  
場としていただきたい。感性を豊かに育てると  
いうことは未来の町づくりにおいてとても重  
要なファクターです。企業も街も個人が支えて  
いることを忘れてはいけません。大切なことは心  
を豊かにし、生きる力を養うことではないでしょ  
うか？自分の周囲を感じ、人や物を大切に出来  
る人を育てていく。芸術にはその力があります。

子ども達の環境づくりは、大人にしかできな  
いことで真剣に取り組まねばなりません。

大人達が率先して本気で楽しみ、子ども達に  
伝えていけるよう美術館でのこれからのプロ  
グラムを楽しみにしております！